

# ウメせん定枝チップの簡易堆肥化法とその施用効果

果樹試験場うめ研究所

## [研究のねらい]

ウメ成木園におけるせん定枝量は10a当たり約250kgにもなりますが、そのほとんどは利用されずに焼却処分されています。そこで、ウメせん定枝チップを園地内で簡易に堆肥化する方法とチップ堆肥の施用効果を検討しました。

## [研究の成果]

- ①ウメせん定枝約250kg(10a分)を小型チップパーを用いて平均3~4cmの長さに粉碎するとコンテナ約30杯分のチップになります。これに、発酵鶏糞を60kg混和後、堆積し散水すると堆肥内温度が50°C以上に上昇し、高温状態が約1ヶ月続きます(図1)。堆積後8ヶ月おくと完熟堆肥となります(図2)。
- ②ウメせん定枝チップ250kg以上の規模なら約1/4量の発酵鶏糞を加えることで均質に堆肥化できます。
- ③できあがった堆肥を1樹当たり毎年20kg程度を3年間施用し続けると、土壌中のpHとECの向上効果や乾燥防止効果があります(表1)。

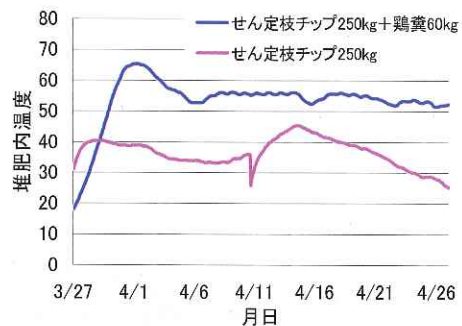


図1 堆肥内温度の推移

## [成果の活用面・留意点]

- ①堆積2ヶ月以内に切り返しを行うと、温度が再上昇しより腐熟が進むので、可能な場合は切り返した方がよいです。
- ②イノシシ等に堆肥を荒されるのを防ぐには、ネットなどで堆肥を覆うとよいでしょう。
- ③現在、みなべ町と田辺市の2カ所で現地実証圃を設置し技術普及を図っています。

表1 チップ堆肥施用による土壌への影響

	pH	EC (mS/cm)	pF値
チップ堆肥施用区	6.9	0.067	1.7
無施用区	5.9	0.050	2.2

EC：土壌中の肥料分量

pF値：値が大きいほど乾燥していることを示す



①せん定枝250kg分をチップパーにかけます



②発酵鶏糞60kgを混ぜます



③全体に混ぜながら積みあげ軽く踏み固めて形を整えます



④下から染み出るくらい水をかけます



⑤8ヶ月おくと200kg程度の完熟堆肥になります



堆肥化前

CN比:60

堆肥化後

CN比:15

※CN比(炭素/チッ素)が20以下になることが堆肥化の目安です

図2 チップ堆肥の作り方

(問い合わせ先TEL: 0739-74-3780)